

## 令和4年度(2022年度)事業報告書

### [ 概 況 ]

長野県の農業は、食料供給はもとより、地域経済や文化を支え、さらに景観形成や環境保全などの重要な役割を担っています。一方、人口減少等の社会構造の変化や気候変動の顕在化などに伴い、生産量の減少や農地利用の低下、担い手の不足・高齢化など多くの課題を抱えています。さらに、新型コロナウイルス禍やロシアのウクライナ侵攻で食料や生産資材の価格が高騰し、農業者や消費者に大きな影響を及ぼしています。とりわけ農業経営は、燃料・生産資材価格の高騰により大きなダメージを負う一方、生産物への価格転嫁が思うように進まず、極めて厳しい環境下にあります。このような中、将来に亘り持続可能な農業経営や食料の安定供給を支えていくため、農業の基礎的資材である優良種苗の安定供給は益々重要性を増しています。

令和4年度の当センターの事業につきましては、会員はじめ関係機関・団体、農業者等のご協力の下、役職員一丸となって優良種苗の安定供給に取り組んでまいりましたが、コメ需要の減少に伴う種子供給量の減少、葉物野菜種子の県内シェア低下など経営環境は一層厳しさを増しています。事業全体では、種苗供給実績の伸び悩みに加え、電気料・生産資材等のコスト高が追い打ちをかけ、当期経常増減額は△22,000千円余と、前年の3倍超、かつ7年連続の赤字となりました。

このため、令和5年度を初年度とする向こう5年間の経営改善計画を策定し、「優良種苗の安定供給」という当センター本来の使命を果たし続けていくため、種苗供給の拡大や事業の効率化を図ることとしました。

主要農作物原種・種子生産供給事業につきましては、天候に恵まれ、大部分の品目・品種で計画数量を確保するとともに、不足が見込まれる品種については機動的なほ場転用等を行い、概ね需要見込み数量を確保することができました。なお、本県では過去に例のない種子伝染性病害に見舞われた水稻「風さやか」、穂発芽の多発生により大幅減収となった「しなの夏そば」などの一部品種で確保不足となり、備蓄種子や一般販売物からの転用で確保しました。

野菜等種苗生産販売事業につきましては、主力品目である野菜種子の販売はほぼ前年並み、イチゴ原苗等の生産販売は前年を上回る一方、果樹苗木は種苗法改正に伴う果樹証紙の切替えが一段落したことやぶどう台木の大口需要減少などにより前年を大幅に下回り、園芸全体では前年をやや下回る結果となりました。

経営基盤を支える基本財産等の運用につきましては、国債等を中心とした安全かつ効率的な運用に努め、概ね計画どおりの運用益を確保することができました。

### [ 各部・事業別の実施状況 ]

#### 1. 総務部

##### (1) 総務関係

ア 基本財産等の運用は、基本財産運用規程及び運用計画に基づき、引き続き長野県信連の定期貯金や国債、地方債、政府保証債により、安全かつ効率的な運用に努めました。

その結果、概ね計画どおりの運用益を確保することができました。

- イ 公益目的支出計画の実施概況は、次のとおりです。(平成 25 年度から実施)
- 実施事業等 主要農作物原種の生産供給・遺伝資源種子等の保存・きのこ母菌の生産販売 (3 事業)
  - 令和 3 年度期末公益目的財産残額 1,945,154,817 円
  - 令和 4 年度公益目的収支差額(赤字額) △ 33,904,372 円
  - 令和 4 年度期末公益目的財産残額 1,911,250,445 円
  - 完了予定年月日 令和 79 年(2097 年)3 月 31 日(残り期間 74 年間)
- ウ 「経営改善計画(令和 5~9 年度)」を策定し、種苗供給の拡大や事業の効率化を図るなど業務改善に取り組み、5 年以内に収支均衡を目指すこととしました。
- エ 令和 4 年 1 1 月に長野県監査委員による「財政援助団体等の監査」が実施されました。監査で提示された検討事項に対する方針等については、令和 5 年 3 月開催の理事会へ報告しました。
- オ 採種事業における農福連携事業の一環として、福祉施設への委託による大豆種子の生産や手選別作業に取り組みました。

## (2) 遺伝資源等保存事業

- ア 遺伝資源保存施設の永年貯蔵庫において、植物遺伝資源 3,000 点余や、受託方式による「信州の伝統野菜」種子の保存管理を行いました。(令和 5 年 3 月末現在 25 品種・うち令和 4 年度中の受託 3 品種)
- イ 同施設の中・長期貯蔵庫において、主要農作物種子の生産に用いる原種等の貯蔵及び入出庫を行いました。

## (3) 主な開催行事

- 令和 4 年
  - 5 月 18 日 令和 3 年度事業及び収支決算監査
  - 5 月 19 日 理事会書面決議(事業報告書・貸借対照表・公益目的支出計画実施報告書等の承認他)
  - 6 月 14 日 理事会(事業実施状況報告, 役員改選に伴う提案事項の承認他)
  - 〃 第 19 回通常総会(事業報告書・貸借対照表等の承認, 役員改選他)
  - 〃 臨時理事会(理事長・副理事長・専務理事及び常務理事の選定)
  - 8 月 1 日 理事会書面決議(役員補欠選任に伴う提案事項の承認他)
  - 8 月 16 日 臨時総会書面決議(役員補欠選任)
  - 9 月 1 日 理事会書面決議(副理事長の選定)
- 令和 5 年
  - 3 月 2 日 理事会書面決議(基本財産運用計画・事業計画書・収支予算書の承認他)
  - 3 月 28 日 理事会(事業概要報告, 「財政援助団体等の監査」における検討事項及び対応方針報告, 経営改善計画(令和 5~9 年度)の承認他)
  - 〃 第 20 回通常総会(事業計画書・収支予算書の承認, 役員補欠選任他)

## 2. 農産部

### (1) 主要農作物原種生産供給事業

ア 原種生産は、概ね計画どおりの数量を確保することができました。

ただし、そば主力品種の「蕎麦信濃1号」は、計画を大幅に下回る生産(計画対比22%)となり、そば全体では計画対比54%の生産となりました。これは委託先の作業上の都合で原種が早まきとなり、開花期が高温期と重なり、結実不良を招いたためと考えられます。

なお、不足分は種子からの転用により充当することとしました。

イ 水稻原種の品種鑑定のため、全6品種(7点)のDNA分析を行いました。

ウ 主要農作物原種全体で、生産量19t(計画対比107%)、供給は19t(前年対比111%)となりました。(備蓄原種等含む)

○ 水稻：生産 8.2t(計画対比107%) 供給 7.5t(前年対比98%)

○ 麦：生産 7.9t(計画対比108%) 供給 7.4t(前年対比100%)

○ 大豆：生産 2.5t(計画対比126%) 供給 2.3t(前年対比132%)

○ そば：生産 0.5t(計画対比54%) 供給 1.8t(前年対比175%)

### (2) 主要農作物種子生産事業

ア 水稻

① 種子伝染性病害のもみ枯細菌病(穂枯症)が、特に「風さやか」で過去に例のない発生となり、当該産地産の種子を隔離し、不足分11tを転用により確保しました。

② 登熟期に日照不足等が重なったため、「コシヒカリ」などの中晩生種5品種で契約数量未達となるJAがあったものの、他JAからの買増しにより需要数量を確保しました。

③ 「つきあかり」は、採種ほ設置面積が計画を下回ったため数量不足となり、2.4tを転用で確保しました。

④ 本年度から県外需要向け業務用品種「ちほみのり」の受託採種を開始しました。契約数量を上回る14.5tの生産となり、全量をJA全農全国本部へ売渡しました。

⑤ 水稻種子全体では、生産量970t(計画対比101%)、供給は915t(前年対比98%)となりました。

イ 麦

① 「ユメセイキ」は採種ほ設置面積が計画を下回ったため数量不足となり、7tを転用で確保しました。

② 大・小麦とも作柄は良好で、「ユメセイキ」以外は契約数量を確保することができました。

③ 麦種子全体では、増加している県内需要及び県外からの当用需要分に対応することができ、生産量311t(計画対比110%)、供給は298t(前年対比112%)となりました。

ウ 大豆

① 作柄は概ね良好であったが、「ナカセンナリ」は確保不足を回避するため、12.7tをほ場転用により確保しました。

- ② 「ギンレイ」は、農産物検査で全量不合格となったため、再調製により0.6t確保するとともに、一般大豆から4.8tを転用し、需要数量5.4tを確保しました。
- ③ 「つぶほまれ」は、ほ場審査で一部不合格となったため、1.5tをほ場転用により確保しました。
- ④ 今後見込まれる大豆種子の需要拡大に対応するため、「ナカセンナリ」の主要採種地を新たに2か所確保し、県下4か所としました。
- ⑤ 令和3年産「ナカセンナリ」種子が作柄不良等により不足したため、転用で確保した37tを供給したところ、そのうち11tに雑草種子・紫斑粒等が混入する事故が発生しました。これに対し種子事故・災害等補填金として124万円余を支出しました。
- ⑥ 大豆種子全体では、生産量94t(計画対比136%)となりました。

## エ そ ば

- ① 夏そばは成熟期の降雨による穂発芽が発生し、生産量1.6t、計画対比50%と大幅な契約未達となり、不足分は備蓄種子で対応します。  
なお、秋そばは3品種とも計画数量を確保しました。
- ② そば種子全体では、生産量25t(計画対比104%)となりました。

## (3) 主な開催行事

### ○ 令和4年

- 4月22日 第1回農産専門委員会 (Web開催/大豆及びそば原種・採種ほ設置計画他)
- 5月6日 麦原種ほ1次審査会 (須坂市)
- 5月17日 麦採種ほ作柄調査・現地指導会 (～30日, JA松本ハイランド他)
- 5月23日 大豆採種ほ設置会議・技術研修会
- 5月26日 麦原種ほ2次審査会 (須坂市)
- 6月14日 " (上田市)
- 7月6日 夏そば採種ほ作柄調査・現地指導会 (JA上伊那)  
夏そば原種ほ1次審査 (JA上伊那)
- 7月13日 " 2次審査 ( " )
- 7月26日 第2回農産専門委員会 (麦種子価格決定, 水稻・大豆種子備蓄計画他)
- 8月2日 大豆採種ほ作柄調査・現地指導会 (～25日, JA信州うえだ・大北他)
- 8月10日 水稻原種ほ1次審査会 (～24日, 須坂市/JA佐久浅間・中野市)
- 8月5日 大豆原種ほ1次審査会 (～25日, 須坂市/JA松本ハイランド・信州うえだ)
- 8月10日 水稻採種ほ作柄調査・現地指導会 (～30日, JA松本ハイランド・あづみ他)
- 8月24日 水稻原種ほ2次審査会 (～9月8日, 須坂市/JA佐久浅間・中野市)
- 9月14日 第3回農産専門委員会 (麦原種・採種ほ設置計画他)
- 9月27日 秋そば採種ほ作柄調査・現地指導会 (10月3日, 上伊那・信州諏訪・  
松本ハイランド他)
- 10月6日 麦採種ほ設置会議・技術研修会
- 10月11日 そば原種ほ2次審査会 (JA上伊那)
- 10月12日 大豆原種ほ2次審査会 (JA松本ハイランド・信州うえだ/須坂市)
- 11月22日 第4回農産専門委員会 (水稻種子価格決定, 水稻採種ほ設置方針他)

○ 令和5年

2月16日 第5回農産専門委員会（水稻原種・採種ほ設置計画、大豆種子価格決定）

3月7日 水稻採種ほ設置会議・技術研修会

### 3. 園芸部

#### (1) 園芸種苗生産販売事業

##### ア 野菜等種子生産販売事業

- ① ピーマンとレタスは、それぞれ計画対比110%、141%と計画を上回りましたが、キャベツは受精不良により計画対比68%の生産となりました。
- ② 野菜等種子全体では、備蓄種子を合わせ、全品種とも概ね需要に即した数量を確保することができました。
- ③ 販売については、ピーマン「ベルホープ」が堅調であったものの、キャベツ・レタス等の主要品目は減少に歯止めがかからず、計画対比75%、前年実績対比99%の販売となりました。

##### イ 野菜等苗生産販売事業

- ① イチゴ原苗については需要が安定しており、計画対比111%の販売となりました。
- ② 実需者から要望のあるイチゴ「サマーリリカル」実取り用砂上げ苗については、親株の生育不良により数量を確保できなかったため、計画対比30%の販売となりました。
- ③ わさび苗については、従来原苗を用いての安定供給に伴い再評価され、計画対比183%の販売となりました。
- ④ 以上の結果、野菜等苗全体では計画対比101%、前年実績対比114%の販売となりました。

##### ウ 果樹原穂木等生産販売事業

- ① 種苗法の改正に伴い、会員の要望に沿って果樹証紙の改訂を行い、利便性の向上を図りました。
- ② ぶどう台木の大口需要の減少や、前年度の旧証紙交換による需要の一時的な減少により、果樹種苗事業全体では計画対比85%、前年実績対比70%の販売となりました。

エ 園芸種苗事業全体では、計画対比74%、前年実績対比98%の販売となりました。

#### (2) きのか母菌等生産販売事業

ア 「第8期(令和4~6年度)きのか母菌生産供給事業」計画に基づき、母菌の安定供給に努めた結果、全体で計画対比117%の販売となりました。

イ 生産した母菌については、変異等の情報を早期に把握し対応するため、モニター栽培を実施し、母菌の品質維持に努めました。

#### (3) 主な開催行事

○ 令和4年

5月11日 「農福連携」色大豆委託採種打合せ及び採種技術講習会（当センター）

- 5月12日 レタス委託採種ほ母株調査及び採種技術現地指導会（長野市）
- 5月25日 トマト委託採種ほ母株調査及び交配技術現地指導会（JAあづみ）
- 6月28日 キャベツ交配種子栽培検定調査（塩尻市）
- 7月4日 ピーマン委託採種ほ母株調査及び交配技術現地指導会（JAあづみ他）
- 8月3日 セルリー「長・野52号」栽培検定調査（塩尻市）
- 8月9日 果菜類交配種子栽培検定調査（JAあづみ）
- 8月26日 レタス種子栽培検定調査及び新系統現地生育状況調査（上田市）
- 9月27日 県職務育成品種果樹苗木生産状況調査（～10月6日，果樹種苗協）
- 11月15日 だいこん委託採種ほ母本選抜及び採種技術現地指導会（JAながの）

○ 令和5年

- 1月12日 「農福連携」色大豆選別業務委託打合せ及び選別指導会（～18日，長野市）
- 2月21日 いちご「サマーリリカル」実取苗推進（～22日，種苗協組・JAあづみ）
- 3月2日 園芸専門委員会きこの部会（令和5年度母菌生産供給事業について）

4. 種子事故・災害等補填事業

生産または配布を行う種苗について、気象災害や不慮の事故等により損害が発生した場合の損失や、主要農作物種子の備蓄残量等の処理にともなう差損を補填するため、種子事故・災害等補填事業要領及び要項に基づき、準備金の拠出（積立）及び補填金の支払いを行いました。

(1) 準備金の拠出（積立）額 24,041,925円（拠出者：種子生産JA・団体，当センター他）

(2) 補填金の支払額 19,490,246円

[内訳]

ア 種子の生産段階の補填

大豆「ナカセンナリ」異物等混入に伴う種子購入者への損失補填 1,245,686円

イ 主要農作物残量処理補填

水稻種子の残量処理に伴う差損補填(12品種／53.1t) 18,244,560円

(3) 準備金残高の推移

期首残高 101,475,702円

期中増減 4,551,679円（拠出（積立）額－支払額）

期末残高 106,027,381円

- イ 公益目的支出計画の実施概況は、次のとおりです。(平成 25 年度から実施)
- 実施事業等 主要農作物原種の生産供給・遺伝資源種子等の保存・きのこ母菌の生産販売 (3 事業)
  - 令和 3 年度期末公益目的財産残額 1,945,154,817 円
  - 令和 4 年度公益目的収支差額(赤字額) △ 33,904,372 円
  - 令和 4 年度期末公益目的財産残額 1,911,250,445 円
  - 完了予定年月日 令和 79 年(2097 年)3 月 31 日(残り期間 74 年間)
- ウ 「経営改善計画(令和 5~9 年度)」を策定し、種苗供給の拡大や事業の効率化を図るなど業務改善に取り組み、5 年以内に収支均衡を目指すこととしました。
- エ 令和 4 年 1 1 月に長野県監査委員による「財政援助団体等の監査」が実施されました。監査で提示された検討事項に対する方針等については、令和 5 年 3 月開催の理事会へ報告しました。
- オ 採種事業における農福連携事業の一環として、福祉施設への委託による大豆種子の生産や手選別作業に取り組みました。

## (2) 遺伝資源等保存事業

- ア 遺伝資源保存施設の永年貯蔵庫において、植物遺伝資源 3,000 点余や、受託方式による「信州の伝統野菜」種子の保存管理を行いました。(令和 5 年 3 月末現在 25 品種・うち令和 4 年度中の受託 3 品種)
- イ 同施設の中・長期貯蔵庫において、主要農作物種子の生産に用いる原種等の貯蔵及び入出庫を行いました。

## (3) 主な開催行事

- 令和 4 年
  - 5 月 18 日 令和 3 年度事業及び収支決算監査
  - 5 月 19 日 理事会書面決議 (事業報告書・貸借対照表・公益目的支出計画実施報告書等の承認他)
  - 6 月 14 日 理事会 (事業実施状況報告, 役員改選に伴う提案事項の承認他)
  - 〃 第 19 回通常総会 (事業報告書・貸借対照表等の承認, 役員改選他)
  - 〃 臨時理事会 (理事長・副理事長・専務理事及び常務理事の選定)
  - 8 月 1 日 理事会書面決議 (役員補欠選任に伴う提案事項の承認他)
  - 8 月 16 日 臨時総会書面決議 (役員補欠選任)
  - 9 月 1 日 理事会書面決議 (副理事長の選定)
- 令和 5 年
  - 3 月 2 日 理事会書面決議 (基本財産運用計画・事業計画書・収支予算書の承認他)
  - 3 月 28 日 理事会 (事業概要報告, 「財政援助団体等の監査」における検討事項及び対応方針報告, 経営改善計画(令和 5~9 年度)の承認他)
  - 〃 第 20 回通常総会 (事業計画書・収支予算書の承認, 役員補欠選任他)

## 2. 農産部

### (1) 主要農作物原種生産供給事業

ア 原種生産は、概ね計画どおりの数量を確保することができました。

ただし、そば主力品種の「蕎麦信濃1号」は、計画を大幅に下回る生産(計画対比22%)となり、そば全体では計画対比54%の生産となりました。これは委託先の作業上の都合で原種が早まきとなり、開花期が高温期と重なり、結実不良を招いたためと考えられます。

なお、不足分は種子からの転用により充当することとしました。

イ 水稻原種の品種鑑定のため、全6品種(7点)のDNA分析を行いました。

ウ 主要農作物原種全体で、生産量19t(計画対比107%)、供給は19t(前年対比111%)となりました。(備蓄原種等含む)

○ 水稻：生産 8.2t(計画対比107%) 供給 7.5t(前年対比98%)

○ 麦：生産 7.9t(計画対比108%) 供給 7.4t(前年対比100%)

○ 大豆：生産 2.5t(計画対比126%) 供給 2.3t(前年対比132%)

○ そば：生産 0.5t(計画対比54%) 供給 1.8t(前年対比175%)

### (2) 主要農作物種子生産事業

ア 水稻

① 種子伝染性病害のもみ枯細菌病(穂枯症)が、特に「風さやか」で過去に例のない発生となり、当該産地産の種子を隔離し、不足分11tを転用により確保しました。

② 登熟期に日照不足等が重なったため、「コシヒカリ」などの中晩生種5品種で契約数量未達となるJAがあったものの、他JAからの買増しにより需要数量を確保しました。

③ 「つきあかり」は、採種ほ設置面積が計画を下回ったため数量不足となり、2.4tを転用で確保しました。

④ 本年度から県外需要向け業務用品種「ちほみのり」の受託採種を開始しました。契約数量を上回る14.5tの生産となり、全量をJA全農全国本部へ売渡しました。

⑤ 水稻種子全体では、生産量970t(計画対比101%)、供給は915t(前年対比98%)となりました。

イ 麦

① 「ユメセイキ」は採種ほ設置面積が計画を下回ったため数量不足となり、7tを転用で確保しました。

② 大・小麦とも作柄は良好で、「ユメセイキ」以外は契約数量を確保することができました。

③ 麦種子全体では、増加している県内需要及び県外からの当用需要分に対応することができ、生産量311t(計画対比110%)、供給は298t(前年対比112%)となりました。

ウ 大豆

① 作柄は概ね良好であったが、「ナカセンナリ」は確保不足を回避するため、12.7tをほ場転用により確保しました。



- ② 「ギンレイ」は、農産物検査で全量不合格となったため、再調製により0.6t確保するとともに、一般大豆から4.8tを転用し、需要数量5.4tを確保しました。
- ③ 「つぶほまれ」は、ほ場審査で一部不合格となったため、1.5tをほ場転用により確保しました。
- ④ 今後見込まれる大豆種子の需要拡大に対応するため、「ナカセンナリ」の主要採種地を新たに2か所確保し、県下4か所としました。
- ⑤ 令和3年産「ナカセンナリ」種子が作柄不良等により不足したため、転用で確保した37tを供給したところ、そのうち11tに雑草種子・紫斑粒等が混入する事故が発生しました。これに対し種子事故・災害等補填金として124万円余を支出しました。
- ⑥ 大豆種子全体では、生産量94t(計画対比136%)となりました。

## エ そ ば

- ① 夏そばは成熟期の降雨による穂発芽が発生し、生産量1.6t、計画対比50%と大幅な契約未達となり、不足分は備蓄種子で対応します。  
なお、秋そばは3品種とも計画数量を確保しました。
- ② そば種子全体では、生産量25t(計画対比104%)となりました。

## (3) 主な開催行事

### ○ 令和4年

- 4月22日 第1回農産専門委員会 (Web開催/大豆及びそば原種・採種ほ設置計画他)
- 5月6日 麦原種ほ1次審査会 (須坂市)
- 5月17日 麦採種ほ作柄調査・現地指導会 (~30日, JA松本ハイランド他)
- 5月23日 大豆採種ほ設置会議・技術研修会
- 5月26日 麦原種ほ2次審査会 (須坂市)
- 6月14日 " (上田市)
- 7月6日 夏そば採種ほ作柄調査・現地指導会 (JA上伊那)  
夏そば原種ほ1次審査 (JA上伊那)
- 7月13日 " 2次審査 ( " )
- 7月26日 第2回農産専門委員会 (麦種子価格決定, 水稻・大豆種子備蓄計画他)
- 8月2日 大豆採種ほ作柄調査・現地指導会 (~25日, JA信州うえだ・大北他)
- 8月10日 水稻原種ほ1次審査会 (~24日, 須坂市/JA佐久浅間・中野市)
- 8月5日 大豆原種ほ1次審査会 (~25日, 須坂市/JA松本ハイランド・信州うえだ)
- 8月10日 水稻採種ほ作柄調査・現地指導会 (~30日, JA松本ハイランド・あづみ他)
- 8月24日 水稻原種ほ2次審査会 (~9月8日, 須坂市/JA佐久浅間・中野市)
- 9月14日 第3回農産専門委員会 (麦原種・採種ほ設置計画他)
- 9月27日 秋そば採種ほ作柄調査・現地指導会 (10月3日, 上伊那・信州諏訪・  
松本ハイランド他)
- 10月6日 麦採種ほ設置会議・技術研修会
- 10月11日 そば原種ほ2次審査会 (JA上伊那)
- 10月12日 大豆原種ほ2次審査会 (JA松本ハイランド・信州うえだ/須坂市)
- 11月22日 第4回農産専門委員会 (水稻種子価格決定, 水稻採種ほ設置方針他)

○ 令和5年

2月16日 第5回農産専門委員会（水稻原種・採種ほ設置計画、大豆種子価格決定）

3月7日 水稻採種ほ設置会議・技術研修会

### 3. 園芸部

#### (1) 園芸種苗生産販売事業

##### ア 野菜等種子生産販売事業

- ① ピーマンとレタスは、それぞれ計画対比110%、141%と計画を上回りましたが、キャベツは受精不良により計画対比68%の生産となりました。
- ② 野菜等種子全体では、備蓄種子を合わせ、全品種とも概ね需要に即した数量を確保することができました。
- ③ 販売については、ピーマン「ベルホープ」が堅調であったものの、キャベツ・レタス等の主要品目は減少に歯止めがかからず、計画対比75%、前年実績対比99%の販売となりました。

##### イ 野菜等苗生産販売事業

- ① イチゴ原苗については需要が安定しており、計画対比111%の販売となりました。
- ② 実需者から要望のあるイチゴ「サマーリリカル」実取り用砂上げ苗については、親株の生育不良により数量を確保できなかったため、計画対比30%の販売となりました。
- ③ わさび苗については、従来原苗を用いての安定供給に伴い再評価され、計画対比183%の販売となりました。
- ④ 以上の結果、野菜等苗全体では計画対比101%、前年実績対比114%の販売となりました。

##### ウ 果樹原穂木等生産販売事業

- ① 種苗法の改正に伴い、会員の要望に沿って果樹証紙の改訂を行い、利便性の向上を図りました。
- ② ぶどう台木の大口需要の減少や、前年度の旧証紙交換による需要の一時的な減少により、果樹種苗事業全体では計画対比85%、前年実績対比70%の販売となりました。

エ 園芸種苗事業全体では、計画対比74%、前年実績対比98%の販売となりました。

#### (2) きのか母菌等生産販売事業

ア 「第8期(令和4~6年度)きのか母菌生産供給事業」計画に基づき、母菌の安定供給に努めた結果、全体で計画対比117%の販売となりました。

イ 生産した母菌については、変異等の情報を早期に把握し対応するため、モニター栽培を実施し、母菌の品質維持に努めました。

#### (3) 主な開催行事

○ 令和4年

5月11日 「農福連携」色大豆委託採種打合せ及び採種技術講習会（当センター）

- 5月12日 レタス委託採種ほ母株調査及び採種技術現地指導会（長野市）
- 5月25日 トマト委託採種ほ母株調査及び交配技術現地指導会（JAあづみ）
- 6月28日 キャベツ交配種子栽培検定調査（塩尻市）
- 7月4日 ピーマン委託採種ほ母株調査及び交配技術現地指導会（JAあづみ他）
- 8月3日 セルリー「長・野52号」栽培検定調査（塩尻市）
- 8月9日 果菜類交配種子栽培検定調査（JAあづみ）
- 8月26日 レタス種子栽培検定調査及び新系統現地生育状況調査（上田市）
- 9月27日 県職務育成成品果樹苗木生産状況調査（～10月6日，果樹種苗協）
- 11月15日 だいこん委託採種ほ母本選抜及び採種技術現地指導会（JAながの）

○ 令和5年

- 1月12日 「農福連携」色大豆選別業務委託打合せ及び選別指導会（～18日，長野市）
- 2月21日 いちご「サマーリリカル」実取苗推進（～22日，種苗協組・JAあづみ）
- 3月2日 園芸専門委員会きこの部会（令和5年度母菌生産供給事業について）

4. 種子事故・災害等補填事業

生産または配布を行う種苗について、気象災害や不慮の事故等により損害が発生した場合の損失や、主要農作物種子の備蓄残量等の処理にともなう差損を補填するため、種子事故・災害等補填事業要領及び要項に基づき、準備金の拠出（積立）及び補填金の支払いを行いました。

(1) 準備金の拠出（積立）額 24,041,925円（拠出者：種子生産JA・団体，当センター他）

(2) 補填金の支払額 19,490,246円

[内訳]

ア 種子の生産段階の補填

大豆「ナカセンナリ」異物等混入に伴う種子購入者への損失補填 1,245,686円

イ 主要農作物残量処理補填

水稻種子の残量処理に伴う差損補填(12品種／53.1t) 18,244,560円

(3) 準備金残高の推移

期首残高 101,475,702円

期中増減 4,551,679円（拠出（積立）額－支払額）

期末残高 106,027,381円

令和4年度(2022年度)種苗等生産供給・販売実績

1. 主要農作物等原種

(1) 水稻原種

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給実績	備考
			数量	計画比	数量	
うるち	コシヒカリ	kg 6,000	kg 6,000	% 100	kg 5,800	
	あきたこまち	720	650	90	558	
	風さやか	—	—	—	430	
	ひとめぼれ	—	—	—	19	
	天竜乙女	—	—	—	26	
	ゆめしなの	—	—	—	15	
	きらりん	140	90	64	15	
	つきあかり	—	—	—	120	
	ふくおこし	—	—	—	44	
	ミルキーQueen	290	300	—	79	
(小計)	7,150	7,040	98	7,106	飼料イネ	
もち	もちひかり	—	—	—	80	
	カグヤモチ	—	—	—	20	
	モリモリモチ	—	—	—	41	
	オラガモチ	—	756	—	—	
	(小計)	0	756	—	141	
酒米 (醸造用米)	美山錦	480	430	89	195	
	ひとごごち	—	—	—	60	
	金紋錦	—	—	—	28	
	しらかば錦	—	—	—	—	
	山恵錦	—	—	—	24	
	(小計)	480	430	89	307	
合計	7,630	8,226	107	7,554		

(2) 麦原種

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給実績	備考
			数量	計画比	数量	
大麦	シュンライ	kg 1,080	kg 1,115	% 103	kg 1,230	
	ファイバースノウ	360	250	69	460	
	ホワイトファイバー	—	—	—	540	
	(小計)	1,440	1,365	94	2,230	
小麦	しゅんよう	350	290	82	920	
	ゆめかおり	1,330	1,400	105	1,400	
	ユメセイキ	350	380	108	700	
	東山53号	1,330	1,730	130	920	
	東山55号	2,590	2,820	108	1,260	
	(小計)	5,950	6,620	111	5,200	
合計	7,390	7,985	108	7,430	出願名称: ハナチカラ 出願名称: しろゆたか	

## (3)大豆原種

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給実績	備 考
			数 量	計画比	数 量	
大 豆	ナカセンナリ	kg 1,650	kg 1,800	% 109	kg 1,680	出願名称: すずみのり
	ギンレイ	180	250	138	100	
	つぶほまれ	150	300	200	275	
	すずろまん	—	—	—	—	
	東山231号	—	150	—	250	
合 計		1,980	2,500	126	2,305	

## (4)そば原種

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給実績	備 考
			数 量	計画比	数 量	
夏 そ ば	しなの夏そば	kg —	kg 225	% —	kg 171	
秋 そ ば	蕎麦信濃1号	810	200	24	1,125	商標: 信州ひすいそば
	タチアカネ	135	85	62	135	
	長野S11号	—	—	—	383	
合 計		945	510	54	1,814	

※ 生産実績は4年産の原種数量、供給実績は4年度中(4月～3月)に供給した原種数量である。(備蓄等含む)

## 2. 主要農作物等種子

## (1)水稲種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計画比		
う る ち	コシヒカリ	kg 708,480	kg 703,560	% 99	kg 680,948	飼料イネ 受託生産
	あきたこまち	81,960	81,480	99	79,524	
	風さやか	58,080	73,080	125	52,032	
	ひとめぼれ	4,800	6,300	131	4,148	
	天竜乙女	2,400	2,400	100	2,776	
	ゆめしなの	2,220	2,220	100	2,188	
	きらりん	1,120	900	80	860	
	つきあかり	17,280	19,540	113	12,380	
	ふくおこし	7,200	8,060	111	7,920	
	ミルキークイーン	9,600	8,920	92	9,752	
	ちほみのり	14,400	14,480	100	14,480	
(小計)	907,540	920,940	101	867,008		
も ち	もちひかり	9,440	9,440	100	8,720	
	カグヤモチ	1,440	1,440	100	1,104	
	モリモリモチ	4,060	5,080	125	5,080	
	オラガモチ	360	756	210	364	
	(小計)	15,300	16,716	109	15,268	
酒 米 (醸造用米)	美山錦	20,160	20,880	103	21,220	
	ひとごごち	5,760	6,440	111	6,736	
	金紋錦	1,920	1,720	89	1,788	
	しらかば錦	960	960	100	788	
	山恵錦	1,920	2,480	129	2,616	
(小計)	30,720	32,480	105	33,148		
合 計		953,560	970,136	101	915,424	

## (2) 麦種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計 画 比		
大 麦		kg	kg	%	kg	
	シュンライ	45,450	50,425	110	54,300	
	ファイバースノウ	16,200	22,500	138	22,500	
	ホワイトファイバー	21,600	23,750	109	19,375	
	(小計)	83,250	96,675	116	96,175	
小 麦	ゆめきらり	—	—	—	30	
	ハナマンテン	—	—	—	4,950	
	しゅんよう	20,400	20,400	100	21,810	
	シラネコムギ	—	—	—	5,280	
	ゆめかおり	50,400	63,540	126	63,540	
	ユメセイキ	16,110	18,120	112	18,120	
	東山53号	39,210	39,210	100	34,680	出願名称: ハナチカラ
	東山55号	72,450	74,010	102	53,430	出願名称: しろゆたか
	(小計)	198,570	215,280	108	201,840	
合 計	281,820	311,955	110	298,015		

## (3) 大豆種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計 画 比		
大 豆		kg	kg	%	kg	
	ナカセンナリ	53,120	72,320	136	58,870	
	すずほまれ	—	—	—	8,640	
	ギンレイ	3,000	5,400	—	4,740	
	つぶほまれ	5,100	5,700	111	4,740	
	すずろまん	—	—	—	320	
	東山231号	8,100	11,000			出願名称: すずみのり
合 計	69,320	94,420	136	77,310		

## (4) そば種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計 画 比		
夏 そ ば	しなの夏そば	3,218	1,620	50	1,328	
秋 そ ば	蕎麦信濃1号	15,210	16,965	111	13,275	
	タチアカネ	1,755	1,755	100	720	
	桔梗11号	4,500	5,445	121	3,173	商標: 信州ひすいそば
	(小計)	21,465	24,165	112	17,168	
合 計	24,683	25,785	104	18,495		

※ 生産実績は4年産の種子買入数量、供給実績は4年度中(4月～3月)に供給した種子数量である。(備蓄等含む)

### 3. 野菜等種子

種 類	品 種	生産実績		販売実績			
		数量	計画比	数量	計画比	金額	計画比
キャベツ	S E	0	%	0	%	千円	%
	Y R S E - S P 他	47.8	72	23.1	76	4,476	79
	(小計)	16.4	57	9.8	59	1,834	52
		64.2	68	32.9	70	6,310	69
野 沢 菜	ニューシナノ	—	—	36.1	48	634	51
レ タ ス	シナノホープ	16.9	241	4.0	50	1,390	50
	サマーエース	3.7	53	3.1	52	1,254	57
	シナノオータム他	0.6	60	3.7	37	1,472	32
	(小計)	21.2	141	10.8	45	4,116	43
パセリー	洗馬系	—	—	11.4	95	301	95
だいこん	戸隠おろし他	13.8	86	9.8	61	348	62
ト マ ト	なつのしゅん	3.8	48	7.8	98	2,014	98
	らくゆたか他	0.9	23	3.0	75	764	85
	(小計)	4.7	39	10.8	90	2,778	94
ピーマン	ベルホープ	25.2	110	34.7	99	10,149	112
	ベルマサリ	—	—	1.6	64	569	71
	台パワー	—	—	0.5	63	172	59
	(小計)	25.2	110	36.8	96	10,890	107
アスパラガス	ずっとデルチェ他	—	—	2.1	105	263	92
えんどう	さやたろう	—	—	1.4	9	7	11
色大豆原種	華大黒他	673.0	71	769.0	78	1,151	82
合 計		802.1	72	921.1	75	26,798	75
せんぶり	みまき1号他	g	%	g	%	千円	%
		1,335	148	1,335	148	353	165
総 合 計						千円	%
						27,151	75

### 4. 野菜等苗

種 類	品 種	苗形態	生産実績	販売実績			
			数量	数量	計画比	金額	計画比
イチゴ原苗	サマープリンセス サマーエンジェル サマーリリカル 章 姫 紅 ほ っ ペ (小計)	鉢 苗	本	本	%	千円	%
			1,480	1,480	74	568	74
			0	0	—	0	—
			5,760	5,760	96	2,063	94
			8,684	8,684	124	3,139	124
			6,437	6,437	129	2,413	130
			22,361	22,361	112	8,183	111
イチゴ実取苗	サマーリリカル	砂上げ苗	2,980	2,980	27	656	30
わさび培養苗	長・野23号	プラグ苗	10,780	10,780	161	1,790	183
採種用原苗	レタス他	鉢 苗	206	206	103	9	100
合 計			36,327	36,327	96	10,638	101

5. 果樹原穂木他

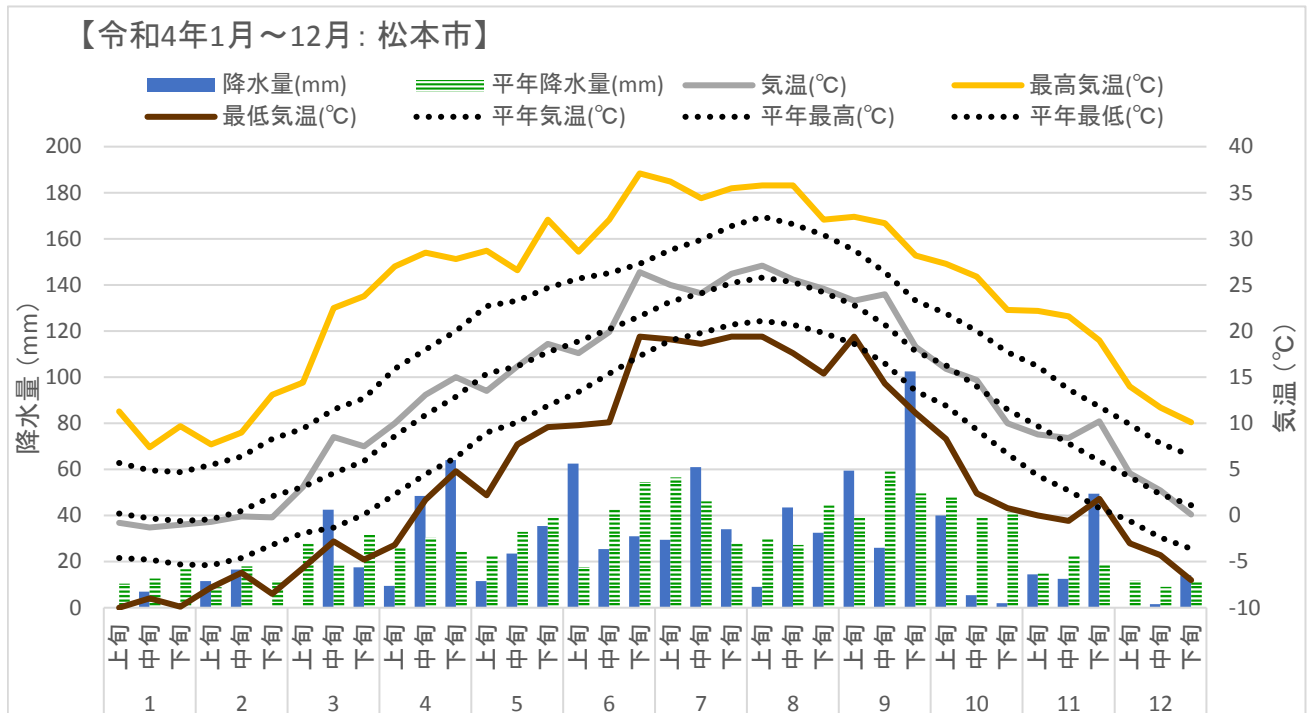
種類	品 種	生産実績	販売実績				
		数量	数量	計画比	金額	計画比	
原穂木 ・穂木	りんご	シナノスイート	kg 13.0	kg 13.0	% 76	千円 40	% 74
		シナノゴールド	1.0	1.0	8	6	10
		シナノリップ	0.0	0.0	0	0	0
		長ふ12他	8.0	8.0	67	47	157
		(小計)	22.0	22.0	45	93	44
	なし	南農ナシ6号他	0.0	0.0	0	0	0
	ぶどう	長果G11	1.2	1.2	24	13	24
		ナガノパープル他	3.4	3.4	113	20	118
		(小計)	4.6	4.6	58	33	46
	もも	なつつこ	5.0	5.0	100	33	100
		紅晩夏	1.0	1.0	100	5	83
		(小計)	6.0	6.0	100	38	97
	ネクタリン	サマークリスタル	2.0	2.0	200	11	183
		スイートクリスタル	6.5	6.5	325	64	291
		(小計)	8.5	8.5	283	75	268
	あんず	信州大実他	2.0	2.0	100	5	100
	プルーン	サマーキュート他	2.5	2.5	125	14	108
	すもも	シナノパール	1.0	1.0	100	8	80
	りんご台木	マルバカイドウ	2.0	2.0	40	6	35
ぶどう台木	5 B B	18.0	18.0	45	69	45	
	101-14	5.0	5.0	3	19	3	
	(小計)	23.0	23.0	12	88	12	
合 計		71.6	71.6	26	360	29	
果樹証紙	りんご	枚 39,520	枚 39,520	% 92	千円 2,382	% 124	
	ぶどう	12,140	12,140	61	626	76	
	もも	12,750	12,750	91	898	113	
	品種名無・出願中他	2,770	2,770	23	125	32	
	(小計)	67,180	67,180	75	4,031	103	
総 合 計					千円 4,391	% 85	

6. きのこ母菌他

種類	品 種	生産実績	販売実績				
		数量	数量	計画比	金額	計画比	
母 菌	えのきたけ	長野農工研GA12	本 82	本 82	% 100	千円 238	% 100
		長野農工研iQ2	293	293	100	850	100
		(計)	375	375	100	1,088	100
	ぶなしめじ	NN-12	468	468	100	1,357	100
		長野農工研B-4号	152	152	—	441	—
		(計)	620	620	132	1,798	132
	バイリング	シナノ淡雪	1	1	—	3	—
	(小計)	996	996	118	2,889	118	
	モニター種菌	えのきたけ・ぶなしめじ	1,091	1,091	113	1,091	113
	合 計		2,087	2,087	115	3,980	117



[ 参 考 ] 令和4年の気象概況



① ②③

【不順天候等による作柄への影響】

時期	品目	発生事象
① 7月中旬	夏そば	収穫期の連続降雨による穂発芽の多発生
② 8月中旬	水稲	開花期～登熟期が高温・多雨条件と重なった「風さやか」などにおける 籾枯細菌病(穂枯症)の発生
③ 8月下旬	水稲	登熟期の日照不足によるコシヒカリ等の中晩生種の種子の充実不足